

SDGs プロジェクト

技能実習生へ 独立サポート！



トボンクモン州のご自宅が作業場になっています。(実習生 ファット ソキム)

今年度に技能実習プロジェクトで学んだ生徒の一人が、コロナ禍のこともありトボンクモン州の田舎に子供3人と戻って、農業で生計を立てる日々でした。どうしても縫製で生計を立てたいと東龍知右門理事長に連絡がありました。当法人で様々な角度で技能実習も含めた仕組みができるか検討してうえで、目的別ミシン3台の寄付支援を7月行いました。

日本カンボジア文化産業振興会

編集後記

コロナ禍の中、本当に飲食業も立ち行かず、日系企業の撤退も相次いでいます。

しかし産業を生み出すには、とても必要な環境になったとおもいます。

トボンクモン州とは
過去はコンポンチャム州でしたが、2013年に独立して、現在の名前になりました。プノンペンから約5時間のエリアになります。作業はゴムの樹脂の生産をしています。各国の支援で育成されたゴムの木がたくさんあり、非常に農業地としてはロケーションのいい州です。ここ近年は開発が進み、行政区として大きくなる動きがあります。2時間ぐらいでベトナム国境があり、輸出入も盛んに行われています。トボンクモン州 (Tbong Khmum) 面積 4928k m²